

## 本校の概要

### 〔学校の沿革〕

- 明治 10年 大山村・甘木村に小学校設置  
12年 近延村・土生に小学校設置  
19年 4校舎を併せ河内小学校を現在地に設置
- 昭和 3年 運動場新設  
4年 校舎増築  
16年 河内国民学校と改称  
22年 河内小学校と改称  
29年 新校舎（南校舎）及び便所の改築  
32年 給食室・調理室新築  
40年 創立80周年記念行事開催  
エレクトーン購入・全教室にテレビ・ラジオ設置  
42年 NHKの研究委託校となる 山口県視聴覚教育研究大会会場となる  
50年 創立90周年記念  
53年 市指定教育課程研究推進校となる  
54年 同上発表大会  
55年 小・中共用体育館建設  
56年 プール完工式、米飯給食週2回実施  
58年 アルミサッシ取付、スチール黒板取替  
県指定同和教育研究発表大会  
59年 新校舎工事完了、運動場拡張工事完了  
60年 開校100周年記念式典挙行（11月）  
記念庭園・記念遊具施設完成・百年誌発刊  
62年 ふれあい学習園整地活用・郷土資料室整備活用 お年寄り参観日の試行  
63年 郵政省簡易保険団体加入（12月）『ふるさとかるた』製作
- 平成 元年 旧校舎一階窓アルミサッシ工事完了  
2年 旧校舎二階窓アルミサッシ工事完了  
5年 文部省道徳教育研究指定校（第1年次）  
6年 文部省道徳教育研究発表会（第2年次）  
10年 河内中学校体育館委譲  
12年 パソコン室整備（サーバー機導入と機器・ソフトの整備充実）  
13年 副読本「ふるさと南河内」作成  
14年 理科室実験台4台・百周年記念として長胴太鼓購入  
15年 学校評議員制度の導入（4名）  
17年 児童生徒人間関係づくり実践モデルの研究推進校（2ヶ年指定）  
18年 資料室を多目的教室に改装・国民文化祭子ども夢プロジェクト参加  
19年 放課後児童教室開設・特別支援教室開設  
22年 体育館耐震化工事終了  
23年 3・4年複式学級設置  
24年 元ラグビー選手 石川安彦氏を招聘しての「タグ・ラグビー教室」開催  
旧校舎側外トイレ改修・講堂放送機器交換・電話及びインターホン設備交換  
25年 スロープ設置、屋上防水工事完了、「著名なスポーツ選手による運動教室」開催（元ラグビー選手 石川安彦氏）、「専門家と連携した防災出前授業」（山口大学大学院理工学部研究科 准教授 朝位孝二氏）  
26年 2・3年, 4・5年 複式学級となる  
27年 3・4年, 5・6年 複式学級となる  
学校運営協議会発足 コミュニティ・スクールとなる  
28年 特別支援学級あおぞら（自閉症・情緒）新設  
29年 1・2年, 3・4年, 5・6年 複式学級となる  
旧校舎耐震化工事終了・外トイレ新設  
30年 台湾台南市東区大同国民小学校との交流開始
- 令和 元年 放課後教室を旧校舎1階に移転  
第1回3校合同大運動会実施  
5年 岩国地域へき地教育振興会研究指定（一年次）  
岩国市・和木町小・中学校教育研究会 へき地・複式教育部会研修会  
6年 全国へき地教育研究大会岡山大会 第6分散会 発表

## 1 校区の特色

錦川の一つの支流である保木川を取り巻く面積25.7平方キロメートルのハート形の形が南河内地区で、東は御庄・師木野地区、北と西は北河内地区、南は、玖珂町と接している。

地区の中央部を貫流する保木川は、近延川、竹安川の支流を合わせて錦川に注ぎ、これらの支流流域に集落（家屋・農地）がある。

地区の中央部を国道2号線が南北に貫いて、岩国・玖珂に通じている。

## 2 学年別児童数（総数21名） 4月8日現在

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
男 子	0	1	1	1	2	9	14
女 子	1	1	1	3	1	0	7
計	1	2	2	4	3	9	21
実戸数	0	0	2	2	3	8	15

## 3 児童数の推移

年 度	平 3	平 5	平 7	平 9	平11	平13	平14	平15	平16	平17
児童数	161	155	139	102	96	95	84	86	85	86
年 度	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27
児童数	85	78	72	63	54	48	46	40	39	37
年 度	平28	平29	平30	平31	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
児童数	34	28	26	24	19	19	23	25	25	23